

2023年度

環境レポート

(運用期間:2023年7月1日～2024年6月30日)



発行日: 2024年9月1日

株式会社 本杉製作所

目 次

I. 組織の概要		P 1
II. 環境経営方針		P 2
III. 実施体制		P 3
IV. 環境経営目標		P 4
V. 環境経営計画		P 5
VI. 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標		P 6
環境目標の取り組み実績		P 7
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価		P 8
次年度の環境経営計画		P 9
VIII. 当社の取り組み (1)		P 10
当社の取り組み (2)		P 11
IX. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟などの有無		P 12
X. 代表者による全体の評価と見直し・指示		P 13



I 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

株式会社 本杉製作所
代表取締役社長 本杉一雄

2. 所在地

名 称	所 在 地	建屋面積	備 考
本社工場・本社東棟	静岡県牧之原市大江1406-2	2409㎡	今回の認証対象
	静岡県牧之原市大江1420-1	594㎡	
第2工場	静岡県牧之原市相良189-16	378㎡	今回の認証対象
第3工場	静岡県牧之原市大江1628-1	1386㎡	今回の認証対象
倉庫	静岡県牧之原市大沢21-3	380㎡	今回の認証対象

3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 本杉 一雄
TEL 0548-521589

4. 事業の概要

乗用車用ドアミラー及び関連部品のアッセンブリー

5. 事業規模

2024年6月30日現在

項 目	内 容
従業員数	全体 97名 (内訳: 本社工場・本社東棟 88名、第2工場 2名、第3工場 6名、倉庫 1名)

6. 事業年度 毎年 7月1日～翌年6月30日

7. レポートの運用期間及び発行日

環境経営レポートの運用期間(2023年7月1日～2024年6月30日)

環境経営レポートの発行日(2024年9月1日)

8. 対象範囲

活動: 乗用車用ドアミラー及び関連部品のアッセンブリー

対象組織: 本社工・東棟工場、第2工場、第3工場、倉庫

私たち会社はドアミラーのアッセンブリーを行っている会社です！



Ⅱ 環境経営方針

【環境基本理念】

我々は良い品物をより安くより早く提供することが、
社会に貢献する事であり会社の発展に結びつく物と確信する
常に考え変化に挑戦して経営理念を実践しよう。

全社員QCDで勝つ!!やるぞ本杉製作所

【行動指針】

- 1) 電力・燃料の削減に努めます。
- 2) 水道水の維持管理に努めます。
- 3) 産業廃棄物排出量の削減に努めます。
- 4) ムリ、ムラ、ムダのない生産に努めます
- 5) 環境関連法規等を遵守します。
- 6) 環境経営の継続的改善に努めます。
- 7) 全ての社員が環境問題の現状や、環境保全活動の重要性を理解し、自ら積極的に活動するための周知を行います。



2007年 1月 22日制定

2020年 12月 1日改定

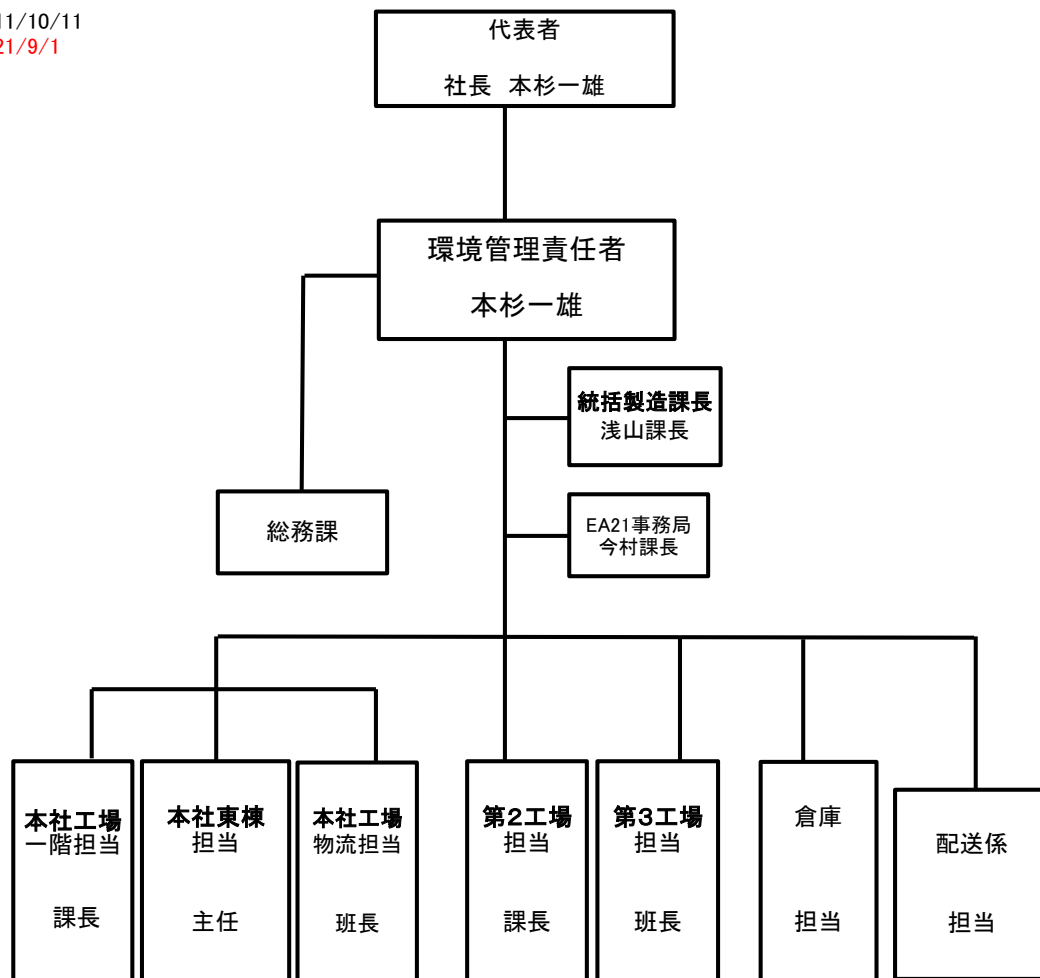
(株)本杉製作所

代表取締役社長 本杉一雄

Ⅲ 実施体制

「対象範囲：全組織・全活動」

作成日 2011/10/11
改訂日 2021/9/1



<関係者の権限と役割>

社長

①	環境経営全般に関する責任と権限
②	環境管理責任者の任命
③	環境経営に必要な資源の準備
④	経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
⑤	環境経営方針の制定及び改定
⑥	環境経営システム全体の評価と見直し

EA21事務局

①	環境負荷データ等の集計
②	環境経営目標・環境経営計画の進行管理
③	「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
④	環境管理責任者へ取組状況の報告
⑤	環境関連法規等の遵守状況チェック
⑥	文書・記録の管理

環境管理責任者

①	環境経営システム全般の運用・管理
②	環境経営目標及び環境経営計画の作成
③	取組状況の社長への報告
④	環境経営レポートの作成

各部門長

①	部門の環境経営計画の実施
②	部門データの集計
③	部門の問題点把握と是正対策の実施
④	部門取組状況の事務局への報告
⑤	部門の従業員教育
⑥	部門の環境への取り組みの周知と指導の実施

その他の従業員

①	自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する
---	--------------------------

IV 環境経営目標

1. 運用期間(2023年7月～2024年6月)

項目		単位	基準期間	運用期間	
			2018年7月 ～ 2019年6月	2023年7月 ～ 2024年6月	
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	227,128	2.5%	221,450
内訳	電力	kWh	327,804	2.5%	319,609
	ガソリン	L	3,513	2.5%	3,425
	軽油	L	23,253	2.5%	22,672
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	2.68	2.5%	2.61
	一般廃棄物	t	2.57	2.5%	2.51
水使用量		m ³	1,222	維持管理	
自らが生産・販売・提供する製品の環境への取組		件	157	5件	152

2. 中長期の環境目標

項目	単位	基準年度	目標年度				
		2018年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
		2018年7月 ～ 2019年6月	2023年7月 ～ 2024年6月	2024年7月 ～ 2025年6月	2025年7月 ～ 2026年6月	2026年7月 ～ 2027年6月	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	227,128	-2.5%	-3.0%	-3.5%	-4.0%	
内訳	電力	kWh	327,804	-2.5%	-3.0%	-3.5%	-4.0%
	ガソリン	L	3,513	-2.5%	-3.0%	-3.5%	-4.0%
	軽油	L	23,253	-2.5%	-3.0%	-3.5%	-4.0%
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	2.68	-2.5%	-3.0%	-3.5%	-4.0%
	一般廃棄物	t	2.57	-2.5%	-3.0%	-3.5%	-4.0%
水使用量	m ³	1,222	維持管理				
自らが生産・販売・提供する製品の環境への取組(工程内不具合削減)	件	157	152件	151件	150件	149件	

<備考>

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力基礎排出係数の「0.433kg-CO₂/kWh」を使用しましたが、次回からは調整後排出係数を用います。
- 水使用量については主に生活用水のため維持管理とします。
- 化学物質は使用していません。

V 環境経営計画

計画▶
実績▶

(運用期間: 2023年7月～2024年6月)

目的	活動項目	責任者 担当者	取組	スケジュール											
				7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
二酸化炭素排出 量削減	休憩時間等不在時の照明消灯	全員	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	共有場所照明の不使用时の消灯	全員	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	省エネタイプ照明への更新 (照明更新時又は新規ラインにLED)	生産技術係	都度	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	空調機使用時の運転管理 (室温・設定温度・ON/OFF管理)	空調機運転管 理者	夏・冬	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	空調機室外機への水噴霧装置による節電	エコ担当	5～9月			▶									▶
	長期休暇前の空調機フィルター掃除の実施 (長期休暇前)	製造課	3回/年		▶				▶					▶	
	空調機使用時の外気流入防止 (本社工場夏・冬での切り替え)	エコ担当	夏・冬		▶				▶					▶	
	エアリー漏れ撲滅(修理他)	生産技術係	都度			▶					▶				▶
	コンプレッサー吸い込みフィルターの掃除	エコ担当	月/1回					▶							▶
	OA機器不使用时のスイッチOFFの徹底 (省エネモード推進)	事務所 使用者	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	未使用設備の電源オフの徹底 (ナット圧入機など使用前に電源ON・使用后 OFF)	全員	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	デマンド管理実施(120kw以下)(本社工 場)	エコ担当	都度	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
水使用量の削減	手洗い場での節水(出しすぎ・出っ放し禁止)	全員	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	使用量の把握と漏水監視	エコ担当	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
廃棄物排出量 の削減	不具合品・仕損品削減・転倒品削減	製造課 配送課	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	工程内不具合低減		通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	紙・ビニール類の分別		通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	持ち込みのゴミの持ち帰りの実施(弁当の殻等)	各事務 スタッフ	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	両面コピーの推進と裏紙利用		通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	メールの活用		通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	印刷時の白黒の使用(経費削減含む)		通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
自らが生産する製品の環境への取組 (全社：工程内不具合削減)	全社	社内検出不具合10%以下	製造課	通年	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		工程パトロール実施	1回/周	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		毎週水曜日の品証朝礼	水/毎週	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	本社・東棟	転倒品件数と仕損額20%減(前年比) 2022年度9件37,436円 目標7件29,949円	通年	全員	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	物流	8A・8C・8Dの仕損額30%低減(前年比) 22年¥817,607→目標¥572,324	通年	全員	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	第二工場	工程内不具合低減による廃棄ロス25%低減 仕損金額 5,311 → 3,983	通年	全員	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
		取組内容100%の実施	通年	全員	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	第三工場	転倒品0件の継続 (2022年度0件)	通年	全員	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶
	配送係	必要に応じた便立て【見直し】	通年 【必要時】	TPS 配送係											▶
		前年度多能工他実施済 の為本年度削除	便変更時必要に応じ実施		▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶	▶

VI 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標



①運用期間(2023年7月～2024年6月)の環境目標の実績

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2018年7月 ～ 2019年6月	2023年7月 ～ 2024年6月				
			基準値	目標 削減率	目標値 (B)	目標 達成率 (A/B)-1	実績値 (A)	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	227,128	2.5%	221,450	-8.2%	203,205	○
内訳	電力	kWh	327,804	2.5%	319,609	-5.8%	301,193	○
	ガソリン	L	3,513	2.5%	3,425	7.0%	3,665	△
	軽油	L	23,253	2.5%	22,672	0.3%	22,729	△
廃棄物排出量	産業廃棄物 (有価物を除く)	t	2.68	2.5%	2.61	12.1%	2.93	×
	一般廃棄物 (可燃物のみ)	t	2.57	2.5%	2.51	1.8%	2.55	△
水使用量		m ³	1,222	維持管理とします			1,399	
自らが生産・販売・提供する製品の 環境への取組		件	157	-5件	152	-35.5%	98	○

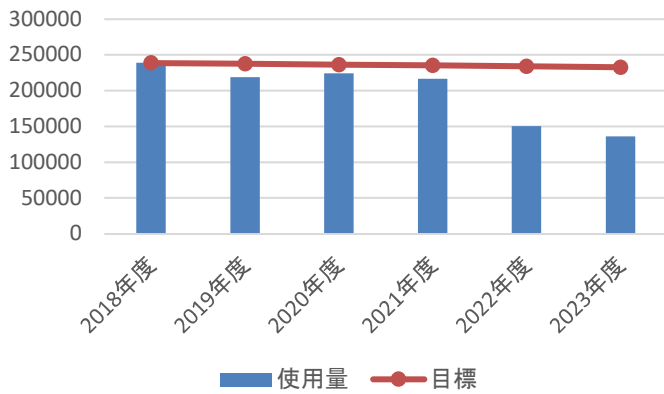
評価: ○・・・達成 △・・・10%以下 ×・・・未達成

<評 価>

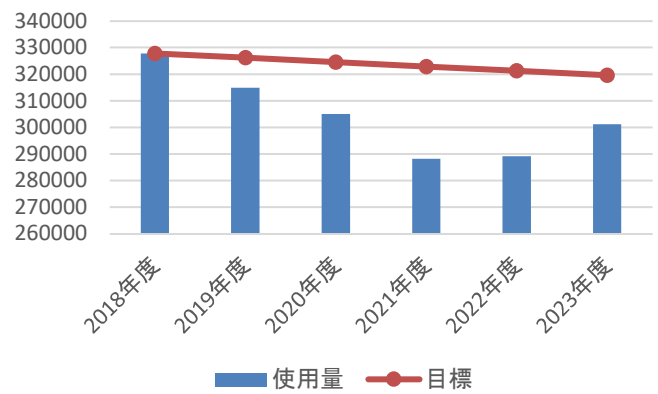
ガソリン 軽油	原因	不具合の発生により何度かガソリン車で客先倉庫へ確認にいったため使用量が増えてしまいました。
	取組	不具合発生によるガソリンの使用量増加のため製品の不具合を発生しないよう取り組みます。
廃棄物	原因	産業廃棄物: 転注準備等により廃却品が増えてしまった。
		一般廃棄物: 増産により通い箱の清掃時に廃却品(紙)が多くなったため廃棄物が増えてしまった。
	取組	産業廃棄物: リサイクルできるものはリサイクルし廃却品を減らす。
		一般廃棄物: 通い箱からのごみ以外の廃却品を削減していく。
電力	原因	10%の削減が達成ができました。体制が変わったことで目標が達成できました。
	取組	使用しない設備の電気を消したりシェア一漏れ等減らしていく

環境目標の取り組み実績

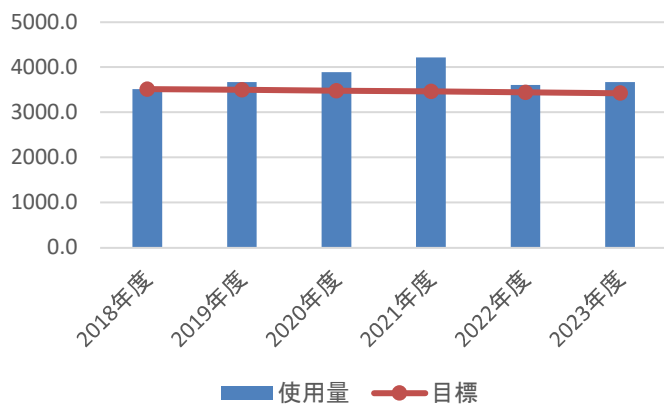
二酸化炭素排出量(CO2)



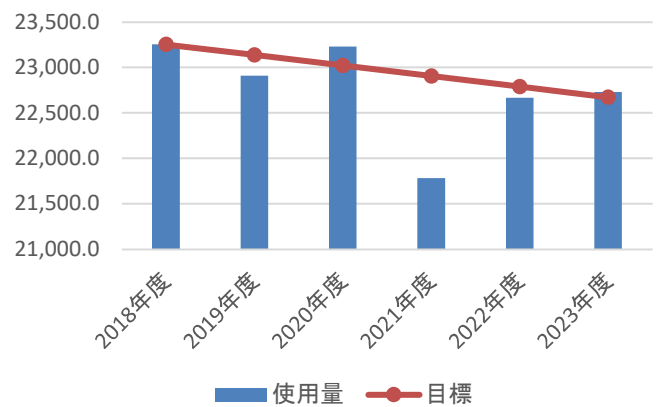
電力使用量



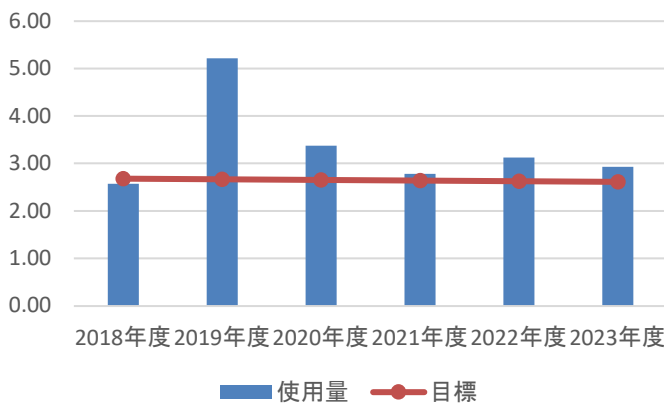
ガソリン使用量(L)



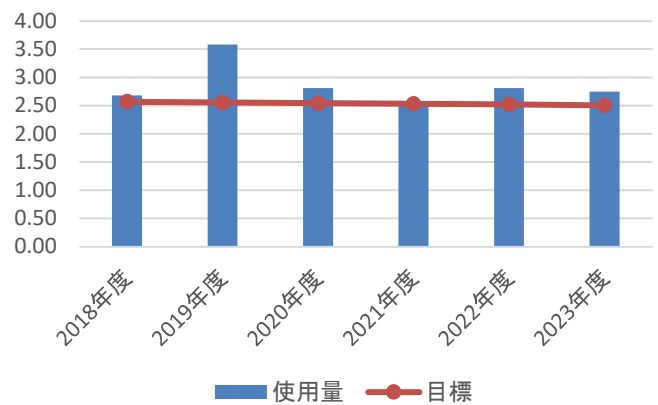
軽油使用量(L)



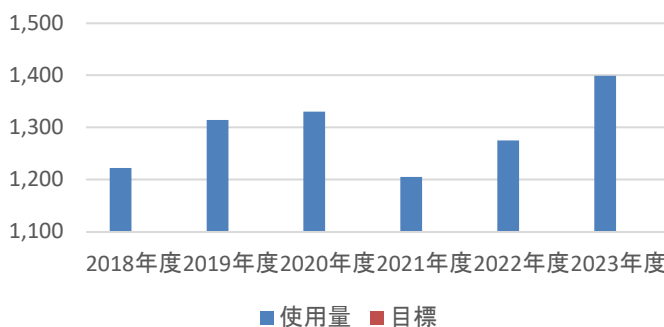
産業廃棄物(有価を除く)(t)



一般廃棄物 (可燃物のみ)(t)



水使用量(L)



VII 環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

(運用期間:2023年7月～2024年6月)

項目取組		活動項目	責任者 担当者	取組	進捗状況	評価	次年度 取り組み
二酸化炭素 排出量削減	照明	休憩時間等不在時の照明消灯	全員	通年	始業前・休憩時徹底されている	2	継続実施
		共有場所照明の不使用时の消灯	全員	通年	実施できている	2	継続実施
		省エネタイプ照明への更新 (照明更新時又は新規ラインにLED)	生産技術係	都度	物流・本社天井蛍光灯交換時LED実施	2	継続実施
	空調機	空調機使用時の運転管理 (室温・設定温度・ON/OFF管理)	空調機運転管 理者	夏・冬	運転管理基準に沿って実施	2	継続実施
		空調機室外機への水噴霧装置による節電	エコ担当	5～9月	空調機ミスト散布を実施	2	継続実施
		長期休暇前の空調機フィルター掃除の実施 (長期休暇前)	製造課	3回/年	3回/年 長期連休前に実施	2	継続実施
		空調機使用時の外気流入防止 (本社工場夏・冬での切り替え)	エコ担当	夏・冬	暖気導入と排気の切り替え実施	2	継続実施
	レ ッ コ ン プ レ ッ サ ー	エアー漏れ撲滅(修理他)	生産技術係	都度	202211/17 3Cレギュレーター交換 3Bハンドピセッターエア漏れ修理	2	継続実施
		コンプレッサー吸い込みフィルターの掃除	エコ担当	月/1回	月1回実施	2	継続実施
	そ の 他	OA機器不使用时のスイッチOFFの徹底 (省エネモード推進)	事務所 使用者	通年	実施出来ている	2	継続実施
		未使用設備の電源オフの徹底 (ナット圧入機など使用前に電源ON・使用后OFF)	全員	通年	稼働時のみ電源オン	2	継続実施
		デマンド管理実施(120kw以下)(本社工場)	エコ担当	都度	冬季・夏季に監視実施	2	継続実施
水使用量の削減		手洗い場での節水(出しすぎ・出っ放し禁 止)	全員	通年	実施できている	2	継続実施
		使用量の把握と漏水監視	エコ担当	通年	使用量の監視を明細にて実施	2	継続実施
廃棄物排出量 の削減		不具合品・仕損品削減・転倒品削減	製造課 配送課	通年	実施できている	2	継続実施
		工程内不具合低減		通年	実施できている	2	継続実施
		紙・ビニール類の分別		通年	実施できている	2	継続実施
		持ち込みのゴミの持ち帰りの実施(弁当の ゴミ等)	各事務 スタッフ	通年	実施できている	2	継続実施
		両面コピーの推進と裏紙利用		通年	実施できている	2	継続実施
		メールの活用		通年	実施できている	2	継続実施
		印刷時の白黒の使用(経費削減含む)		通年	実施できている	2	継続実施
		自らが生産する製品の環境への取組 (全社：工程内不具合削減)	全社	社内検出不具合10%以下	製造課	通年	実施できている
工程パトロール実施	1回/周			実施できている		2	継続実施
毎週水曜日の品証朝礼	水/毎週			実施できている		2	継続実施
本社・東棟	転倒品件数と仕損額20%減(前年比) 2022年度9件37,436円 目標7件29,949円		通年	全員	結果6件1,424円 件数はあったが、再利用可レベル だった	2	継続実施
物流	8A・8C・8Dの仕損額30%低減(前年比) 22年¥817,607→目標 ¥572,324		通年	全員	23年仕損額1,036,023 未達	1	継続実施
第二工場	工程内不具合低減による廃棄ロス25%低減 仕損金額 5,311 → 3,983		通年	全員	実績 6,214	1	継続実施
	取組内容100%の実施		通年	全員	実施できている	2	継続実施
第三工場	転倒品0件の継続 (2022年度0件)		通年	全員	実施できている	2	継続実施

評価

2 完了・計画道理進捗している
1 不十分であるが取り組んでいる

Ⅳ 次年度 環境経営目標



1. 運用期間(2024年7月～2025年6月)

項目	単位	基準期間	運用期間	
		2018年7月 ～ 2019年6月	2024年7月 ～ 2025年6月	
		基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	227,128	3.0%	220,314
内訳	電力	kWh	3.0%	317,970
	ガソリン	L	3.0%	3,407
	軽油	L	3.0%	22,556
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	3.0%	2.60
	一般廃棄物	t	3.0%	2.49
水使用量	m ³	1,222	維持管理	
自らが生産・販売・提供する製品の環境への取組	件	157	6件	151

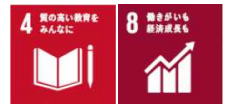
2. 中長期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度			
			2018年度	2024年度	2025年度	2026年度	2026年度
			2018年7月 ～ 2019年6月	2024年7月 ～ 2025年6月	2025年7月 ～ 2026年6月	2026年7月 ～ 2027年6月	2026年7月 ～ 2027年6月
二酸化炭素排出量		kg-CO2	227,128	－3.0%	－3.5%	－4.0%	－4.5%
内訳	電力	kWh	327,804	－3.0%	－3.5%	－4.0%	－4.5%
	ガソリン	L	3,513	－3.0%	－3.5%	－4.0%	－4.5%
	軽油	L	23,253	－3.0%	－3.5%	－4.0%	－4.5%
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	2.68	－3.0%	－3.5%	－4.0%	－4.5%
	一般廃棄物	t	2.57	－3.0%	－3.5%	－4.0%	－4.5%
水使用量		m³	1,222	維持管理			
自らが生産・販売・提供する製品の環境への取組(工程内不具合削減)		件	157	151件	150件	149件	148件

<備考>

- 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、中部電力基礎排出係数の「0.433kg-CO₂/kWh」を使用しましたが、次回は調整後の排出係数を使用します。
- 水使用量については主に生活用水のため維持管理とします。
- 化学物質は使用していません。

VII 当社の取組み(1)



水道への節水



節水の表示

月/1回のコンプレッサのフィルター清掃



フィルター清掃実施

電力削減(電気を消す・温度管理)

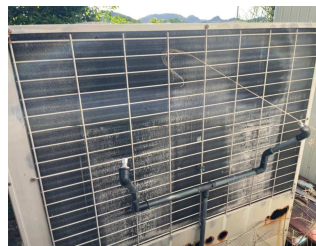


作業前1時間・作業終了の1時間前に空調機を消す活動を実施

コンプレッサ暖気取り込み切り替え実施



室外機へミスト噴射



冷房の効率と、ヒートアイランド対策

LED蛍光灯へ変更



設置状況

LED蛍光灯を設置

エコドライブ運転



各ドライバーによるエコドライブの実施

すだれによる日射遮蔽効果



夏季日射防止

ゴミ分別



一般ごみ

金属・混廃廃却コンテナ

廃プラ・混廃コンテナ

補助空調



スポットクーラーを一部使用

空調服での対応



空調機設置できない場所では空調服で対応

火災防止への取り組み

(喫煙場所)
喫煙所へバケツを準備し
たばこの火を消火してから
灰皿へ投函



VIII 当社の取組み(2)

環境上の緊急事態の準備対応

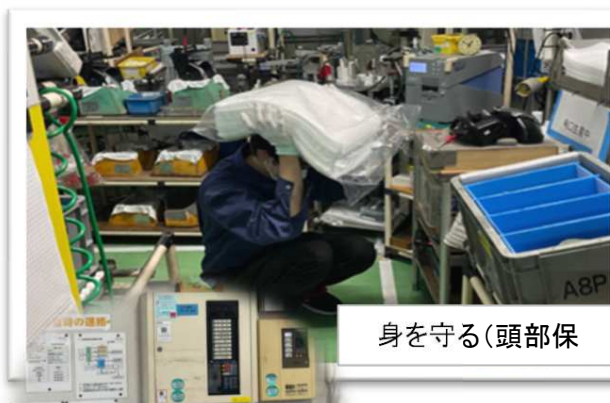
想定される緊急事態	当社では化学物質の使用無し、少量危険物の保管もなく想定される緊急事態としては、 <u>火災によるプラスチック延焼による大気汚染があります。</u>
対象	全工場
訓練内容	2023年11月20日(金)実施 消火訓練・避難訓練・通報訓練

本社工場

地震による火災想定

第二工場

第二工場消火訓練



身を守る(頭部保)



避難所へ移動訓練



本社2F事務所警報装置



第二工場消火訓練



避難後の点呼



第三工場消火訓練

IX 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。



評価日 2024年7月22日

法令・条例	条項	遵守事項	当社の対応	遵守評価
廃棄物処理法 牧之原市条例第104号	第12条2項	廃棄物の適正処理	廃棄物の分別	遵守
	第104号第3条	事業系一般廃棄物の排出	牧之原市条例の順守と適正排出	遵守
	第12条2項	産業廃棄物の保管	保管場所の確認、保管場所示	遵守
	第12条6項	産業廃棄物排出委託基準	指定業者との契約確認	遵守
	第12条3第2項	産業廃棄物	マニフェストの保管	遵守
	第12条3第7項	産業廃棄物管理票交付	6/30までに中部健康福祉センターに提出	4/26提出
静岡県産業廃棄物適正な処理に関する条例	第10条	廃棄物処分の現地確認	処分場の現地確認	遵守
フロン排出抑制法	第2条9項	業務用エアコン・コンプレッサの適正廃棄（フロン充填設備）	左記設備の廃棄時は、フロンの回収・破壊について専門業者に依頼実施する。	遵守
	第1条	簡易点検の実施	3か月に1回の簡易点検	遵守
家電リサイクル法	第6条	特定家庭用機器の適正廃棄（処理代金支払い）	電化製品の廃棄時	対象なし
自動車リサイクル法	第8条	適正廃棄	自動車の廃車時	対象なし
資源有効利用促進法	第6条	適正廃棄	パソコンの廃棄時	対象なし
騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	コンプレッサの騒音チェック 2台	遵守
	第6条	特定施設の届け出	特定施設の牧之原市への届け出確認	遵守
	第10条	届け出内容の変更有無	届け出内容の変更有無	対象なし
	第8条	追加設備の有無		なし
振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	該当施設の振動チェック コンプレッサ2台	遵守
	第6条	特定施設の届け出	特定施設の届け出確認	遵守
	第10条	届け出内容の変更時の届出有無	届け出内容の変更有無	対象なし
	第8条	追加設備の有無		なし
消防法 牧之原市火災予防条例	第9条	指定数量未満の危険物貯蔵及び取り扱い事項の遵守	暖房用灯油貯蔵場所及び取り扱いの確認	なし
浄化槽法	第10条	保守点検及び浄化槽の清掃	保守点検記録の保管	遵守
	第7.11条	指定検査機関の水質検査	定期点検記録の保管	遵守

2. 近隣住民等よりの、訴訟は3年間ありません。

X 代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の評価

	評価項目	評価結果	特記事項
1	環境経営目標の達成状況	○	前年同様一部未達、ただ電力についてはこの猛暑の中良い傾向であった。 産廃については工場整理のための一時的なもの
2	環境経営計画の実施状況	○	各自活動実施中
3	環境活動の運用結果	△	SDGsの啓蒙実施のこと
4	環境関連法規の遵守状況	○	遵守されている
5	外部からの、環境に関する苦情	○	無し
6	教育訓練の実施	○	継続実施
7	内部監査の結果	－	対象外
8	緊急事態への対応及び準備	○	継続中
9	環境管理体制	○	継続中
10	業務の職務分掌	○	継続中

評価 ○：適切、△：見直しが必要、×：不適切

全体の見直し

	見直し項目	見直しの有無	評価
1	環境方針	有 ・ 無	ともかく電力・燃料などを出来るだけ少ない経費でどこまで減らせるのかを愚直に追求する。 SDGs期限まで残り6年 仕事の中で、家庭の中で各々できることを出来る範囲で改めて考え実行に移していきましょう
2	環境経営目標	有 ・ 無	
3	環境経営計画	有 ・ 無	
4	実施体制	有 ・ 無	

2024年 7月1日
(株)本杉製作所 本杉一雄